

外務省

宇宙技術を活用した経済協力

平成24年度予算額 政府開発援助経済協力等援助費及びJICA運営費交付金の内数

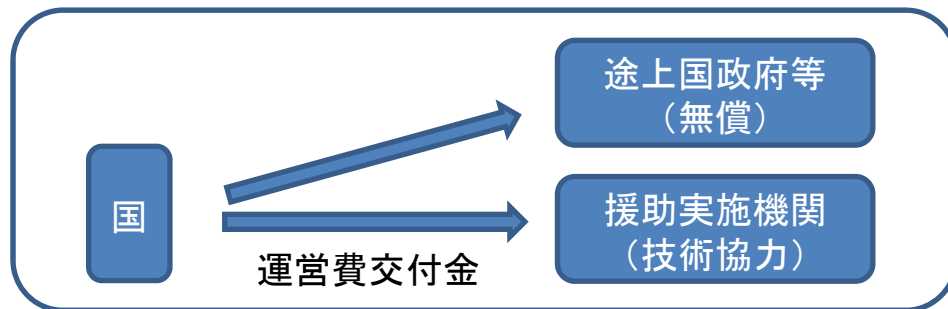
外務省国際協力局
開発協力企画室
03-5501-8363

事業の内容

事業の概要・目的

- 防災、気候変動等のグローバルな課題への貢献について、衛星データの利用や通信網の整備等の宇宙技術を開発課題の解決に有効なツールの一つとして活用し、森林資源の持続的な活用や自然災害の軽減等、途上国の経済・社会開発に資することを目的として事業を実施しています。
- ODA事業(無償資金協力、技術協力)において、ODA大綱との整合性に留意しつつ、衛星データの利用や通信網の整備等の宇宙技術を主に右の分野の協力を活用しています(事業イメージは過去の実績の代表例)。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

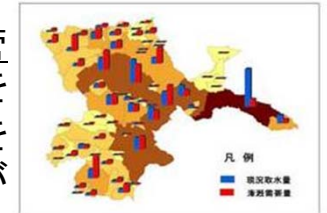
○森林・自然環境

アマゾン森林保全・違法伐採のためのALOS衛星画像の利用プロジェクト(技術協力、ブラジル):衛星データの解析による森林資源減少状況の把握と炭素量の推計及び衛星データによる泥炭地火災の早期発見を行いました。協力期間2009年6月～2012年6月。



○水資源開発

セフィールドルード川流域総合水資源管理調査(技術協力、イラン):衛星画像をベースに季別・農作物別の土地利用図を作成し、作物の単位用水量の算出等ができるよう技術的協議・指導を実施しました。協力期間2007年7月～2010年1月。



○防災

モウルビバザール気象レーダー設置計画(無償資金協力、バングラデシュ):気象データ衛星通信システムの供与、E/N締結2007年6月。



○地図作成

ミンダナオの平和と開発のための地形図作成プロジェクト(技術協力、フィリピン):衛星データを活用した国土基本図を作成し、併せて、地形図作成技術の技術移転による人材育成を実施します。協力期間2010年3月～2013年2月。